

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

～5月の豊かな自然の中で～

園の周りは、いぬふぐり、すみれ、たんぽぽ、なのはな、れんげの花が咲き誇り、春の花の饗宴。そんな中を散歩する子ども達は、笑顔にあふれています。この景色にこいのぼりが似合う5月の季節

入園・進級して1ヶ月あまりが過ぎ、子ども達も少しずつ落ち着いてきました。

理屈ではなく無条件に愛されて園が、楽しくなるのは、にこにこ・るんるんぐみ。泣く事は、大事な子どもの心です。

今までの担任が変わったり、部屋が変わったりはじめての園生活の出会いに戸惑いながらも水遊びや散歩そして給食で笑顔が増えるほしぐみ。

砂あそびや泥んこあそび、・・と好きな遊びが園で増えて来て、いい顔がたくさんみえるにじぐみ

ごっこ遊びやお散歩と遊びの中で、お友達の関係が深まっているのがよく分かるそらぐみ

針と糸で作るこいのぼりや相棒活動など・・。「これは、たいようしかできないよね」「ちょっと大変だけど楽しい」と言う様にちょっと大変かなという事も大きくなった喜びを発達の力にしているたいようぐみ。

園で好きなあそびが出来ると園が安心出来る場所になり、だっこしたり気持ちがわかってくれる人を見つけると、安心して園生活を楽しめるようになる子ども達。そして、緊張がとれ、やっぱりお家がいいと登園を嫌がる事もあります。そんな時は、慌てず相談してくださいね。子ども一人ひとりが、園になれていくには、ノウハウは、ないので。勿論、持ち上がり子ども達も同じです。寂しくなったり、ペア活動で悩んだり・・・。

大きくなる事は、新しい出会いに挑戦し乗り越えることで、新しい自分を発見し、自信となり力を蓄えていくのですね。

ゆっくり、ゆっくり大きくなる事を応援していきましょうね。

1951年5月5日は、「子どもは、子どもである事を尊重される」事をうたった「児童憲章」が作られました。簡単に言えば、子どもは、大人のミニチュアではなく、その時代を豊かに過ごす事が子どものしあわせになるという事です。

昔から大人達が、すくすく育てて欲しいと願って、こいのぼりに寄せた気持ちに重なるものです。

子どもにとっての幸せは、大人達によって花咲くものです。

人間は、動物である事を忘れず自然に学び、同じ動物の仲間に学びながら子育てや保育を考えると大切なものが見えてくる事を実感するこいのぼりの泳ぐ5月

子どもの笑顔が溢れてしあわせになりますように！

(おか)

あおぞらだより

「言えることが大事 聞いてもらえることが大事」

暖かい日が続き、空にはこいのぼり、園庭にはきれいな花々、トカゲやだんごむし、てんとう虫が見つけられるようになり、散歩に行けば「カエルのたまごを見つけたよ」「ツバメの巣があったよ」の声。子どもたちの探究心をくすぐる季節ですね。

園庭で穴掘りしていたMくん。

「ねえねえ幼稚園にずっといるとき、お母さんに会いたくなっちゃう」

「そう。Aちゃん（自分）もー」とAちゃん。

でもそう話すお顔は、ニコニコで、力強くシャベルで穴を掘り続けています。

「本当だねー。いっぱい遊ぶとお母さん迎えにきてくれるねー」

この春、年少さんになった二人の姿。小さな体でいろんな思いを味わっていますね。

新しい園生活にも慣れてきたこの時期、いろんなことが変わってきた分楽しさも増えるけど、分かってきた分嫌なことも出てきたりする頃でもあります。

お家では朝泣く…「ようちえんいやっ」「おもしろくない」って言うとお家の方をハラハラドキドキさせている子もいるでしょう。でも、どうでしょう、安心できる場所で甘えられる人に気持ちをはきだした後は、何だかすっきり登園していったり、朝は泣いていたのに帰りはケロリと楽しかったと帰ってきたりなんて姿もあるのではないのでしょうか。

お家の方は子どもの言葉に驚かされたり心配したりするけれど、子どものちょっとしたつぶやき、ぼやきを聞いてあげてくださいね。

そして、「大丈夫」のメッセージと共に、ぎゅっと抱きしめ「いっぱいあそんでおいで」と送り出してあげましょう。

そして、心配な時は園まで知らせてくださいね。大人も話すことで悩みは半分こ、そして喜びを2倍にしていきましょう。

あおぞらがこどもたちにとってもお家の人にとっても安心できる場所になりますように……。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

「寝る前のえほん」

今月5歳になる息子に寝る前の絵本のよみきかせを始めたのは、1歳のお誕生日よりも前のことだったと思います。

0歳のときは、一緒に寝転んで絵を見ていました。

1歳のときは、「絵本を渡したらひざに座る」を覚えて、お約束事になりました。

2歳のときは、絵本を次々と持ってくるのを「1冊だけ」とわかってもらうのに苦労しました。

3歳のときは、どんなに眠くても「絵本、えらんでくる！」と、一日も欠かしませんでした。

4歳で、「続きは明日」を楽しみに待てるようになりました。

5歳は、もうちょっと長い絵本に挑戦してみようかな？と母は考えています。

最近では、息子の座高がひざに座られると絵本が見えなくなるほどの高さになったため、横に座ってもらって読んでいます。

あきこ

わとと・あおぞら

今年、わととに戻ると…

ハイハイだった子が歩き、

ヨチヨチ歩きの子が走り、

一人っ子だった子に弟や妹が生まれていて、

ママたちは、2児のお母さんになっている姿がいっぱいで…

1年の成長は、すごいなあーと！！うれしい気持ちで4月スタートしました。

毎日あふれるばかりの利用者さん&預かりの子どもたちに感謝の気持ちも溢れます。

先日、二人目の赤ちゃんを産んで、

「5ヶ月になったから、またきたよー」と来所するママ、

「私って古株っていうこと??みんな知らない人ばかりだよ、子どもの世代交代??私もまた、ママ友作らないとー…」

と言いながら関わっていった姿が、ステキに思えたひとコマでした。

せり

友達と見る絵本

おさんぽ おさんぽ /ひろのたかこ さく 福音館書店

子どもが長靴でお散歩に出かける絵本です。
顔や身体はなく、ひざ下だけの絵なのに、読んでいるうちにいろんな表情が浮かんでいきます。
登場する虫も子どもたちの身近なだんごむしやカエル、カタツムリ等なので喜びです。
大きな水たまりに入ってバシャバシャと遊んでいる場面では、見ているだけで楽しい雰囲気が伝わってきます。
散歩をしている時の子どもがワクワクしている気持ちが、よくわかる絵本ですよ。

(末永)

5月 赤い羽根 助成金事業のお知らせ

○「お悩み別 子どもの行動が気になるママ集まれ！」 5/29(火)10:30~12:00

今月のお悩みテーマは【ことばがでない】

1歳半になってもおしゃべりをしない、言葉が増えない…。

子どもの言葉のことで悩んでいるママ、集まって皆とお話ししてみませんか？

1歳半以上のお子さんをお持ちのママが対象です。



○「子育てよろず相談」 5/1(火) 9:00~12:00

お母さん自身がかかえていることなんでもいいですよ。時間をとって、ゆっくりとお話しませんか？

○「コミュニケーションをはぐむ親子教室“ころころ”」 5/19(土) 10:00~11:30 ¥1,000

「子どもと一緒にたのしむことが難しい」「子どものおもしろいことがわからない」と悩んでいたりと、お子様の発達に心配をお持ちのお父さん・お母さん。お子様とのかかわり方をいっしょに考え、楽しいやりとりにつながるようにお手伝いします。



<事業はすべて予約制です。会場はわと・あおぞらです。>

この事業は赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。